低CO_2川崎ブランド算定講習会

エントリーシート、審査シートの記入方法について

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

24年度のスケジュール

公募開始
（6/4）

公募説明会
（6/18）

算定講習会
第1回：7/4
第2回：7/23

エントリー
シート提出
（6/4～8/20）

エントリーシート
作成支援

一次審査

審査シート
提出
（10/9～11/6）

二次審査

認定発表
（1月頃）

エントリーシートの提出、一次審査

エントリーシート提出期間：6/4～8/20

- **「算定講習会の内容」、「算定ガイドブック」、「エントリーシート記入例」**を参考にご記入下さい
- 一企業で複数の製品・技術を応募される場合は、製品・技術ごとにご提出ください
- 提出されたエントリーシートに基づき、一次審査による選定を行います
- 必要に応じてヒアリングによる確認を行う場合があります

エントリーシート記入方法（1ページ）

応募要領6頁5.(1)④ 協力への事前同意★() ※該当する項目に〇印を記入	（〇） 同意する
法律違反等について★ ※該当する項目に〇印を記入	（〇） 下記の項目全てに該当している ・ 過去3年間、行政庁等から法律違反の指摘を受けていない ・ 川崎市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団、暴力団経営支配法人等ではない ・ 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律第5条第1項に定める処分を受けていない

※応募要領6頁5.(1)④

- 製品・技術、サービスの販売（導入）実績を含む活動量に関するデータの継続的な提供※
- 低CO_2川崎ブランドロゴマーク使用規定の遵守

※川崎市の地球温暖化防止対策の推進にあたり、ブランドとして認定された製品や活動等の活動量（製造量や導入量、活動状況など）に関する情報を、今後継続してご提供いただくようご依頼することがあります。ご理解ご協力をお願いいたします。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（2ページ）

CO_2削減のポイント（従来製品・技術、サービスに比べ、CO_2の削減へ貢献している優れた点について、ライフサイクル毎にご記入ください。） ※サービスの場合は（ ）内の段階毎にご記入ください。	原材料調達段階（物資の調達）	本体をコンパクト化し、従来比10%の原材料削減を実現。包装緩衝材を、発泡スチロールから古紙利用に変更。
	生産段階（サービスの提供）	組み立てプロセスで、従来比5%の省エネルギーを実現。
	流通・販売段階（営業・販売）	本体のコンパクト化により、流通にかかるエネルギー消費を削減。
	使用・維持管理段階（アフターサービス）	スチームカバー率を2倍とすることで、スチーム時の電力消費を節減。自動電源オフ機能により、使用時の電源切り忘れによる電力消費を節減。
	廃棄・リサイクル段階	耐熱性・耐久性に優れた素材を採用し、製品の長寿命化を実現。

※各段階の環境保全への貢献について、 ご記入ください。

※CO_2排出削減に限定せず、幅広く捉えていただいて結構です。

※該当しない段階は空欄で結構です。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（3ページ）

製品・技術、サービスの機能 ※応募製品・技術、サービスが有する機能、主な性能特性	*衣服のアイロン掛け*
機能単位 ※応募製品の機能をある単位で定量化したもの	*1日15分、5年間の衣服のアイロン掛け* ☆算定ガイドブックP7参照

※算定ガイドブックP7を参照し、ご記入ください。

※機能単位は、応募製品・技術等と、比較対象の機能単位を揃えることに特に留意してください。

LOW CARBON

低CO2川崎ブランド

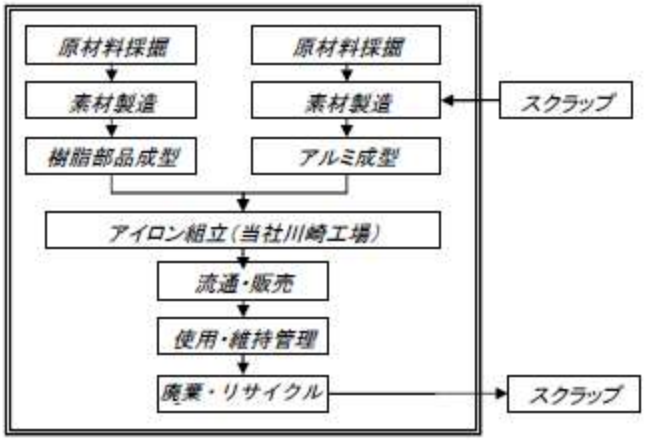
エントリーシート記入方法（3ページ）

比較対象製品・技術、サービス ☆算定ガイドブック P8参照	概要 （選択した上で記述）	（ ○ ） 自社の過去の製品・技術等（ ） 標準的な状況 （ ） その他（ ） *応募製品（xx02）の前機種であるコードレススチームアイロンXXO1（2005年発売）*
	選択理由・根拠	*応募製品（xx02）の前機種に相当し、同程度の出力、同程度の機能を有する。*
	自由欄	（他に考えられうる比較対象、懸念事項があれば記載）

※算定ガイドブックP8を参照し、ご記入ください。

※不明な点があれば、事務局にご相談ください。

エントリーシート記入方法（3ページ）

製品・技術、サービスのフロー（算定範囲の設定） ※川崎市内での工程がわかるようにして下さい。 ☆算定ガイドブックP10 参照	応募製品・技術、サービス	
	比較対象製品・技術、サービス ※応募製品・技術、サービスのフローと同じであれば省略可能です。	（　　）フローが異なる　（　　）原材料が異なる （　　）その他　（　　） 同上

※算定ガイドブックP10を参照し、ご記入ください。

※比較対象のフローが異なる場合は、同じ機能を提供するために必要なフローをご記入ください。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（3ページ）

算定対象外 ※上記のライフサイクルのうち、割愛したプロセスがあれば明記	☆算定ガイドブックP13参照 *なし*
カットオフ ※カットオフした項目があれば、根拠と妥当性を明記	☆算定ガイドブックP14参照 *センサー部品について、製品重量で3%未満であることを確認し、カットオフした。*

※算定ガイドブックP13、14を参照し、算定対象範囲に含めなかったプロセス、及び部分的にカットオフした項目があれば記入してください。

エントリーシート記入方法（4ページ）

製品・技術、サービスの耐用（使用）年数	5　　単位：（○）年　／その他　（　　）
算定対象期間	※基本は過去1年間に生産された製品・技術等によるCO_2排出量の削減貢献を対象とする *過去1年間（2010年4月1日～2011年3月31日）における川崎工場からの出荷*

※耐用年数は、算定結果に大きく影響を及ぼすため、その根拠・エビデンス（取扱説明書や保証書、カタログ、使用実績・測定結果を示すもの等）を確認させていただきます。

※算定対象期間は、基本的には過去１年間とし、算定のために使用したデータの集計期間を記入してください。

エントリーシート記入方法（4ページ）

算定対象のガス ※該当する番号に〇印を記入してください。 （二酸化炭素の算定は必須とし、その他のガスは任意とします。）	（①） 二酸化炭素（CO_2）のみを算定対象とする （2） 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする （3） 原則、二酸化炭素（CO_2）を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする （3）を選択した場合、CO_2以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。 ⇒ （　　） ※6種類の温室効果ガスとは、CO_2に加え、メタン（CH_4）、一酸化二窒素（N_2O）、ハイドロフルオロカーボン類（HFC）、パーフルオロカーボン類（PFC）、六ふっ化硫黄（SF_6）

※ライフサイクルにおけるCO_2以外の温室効果ガスの排出量について、応募製品等と比較対象との間に大きな差異が生じる場合には、CO_2以外のガスの算定をお願いする場合があります。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（4ページ）

最終製品のCO_2削減に対する当該製品・技術の寄与率 ※製品・技術が最終製品ではなく、その一部を構成する製品・技術の場合のみ。	寄与率設定の考え方	☆算定ガイドブックP16参照 *設定していない*
	寄与率	―――

※算定ガイドブックP16を参照し、ご記入ください。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（5～7ページ）

ライフサイクル段階別CO_2排出量（応募製品・技術、サービス）

＜ 原材料調達段階（物資の調達）＞

	項目	入出力データ	（単位）	単位あたりCO_2排出量（原単位）	（単位）	CO_2排出量（g-CO_2）	データ出典*	原単位出典*
インプット	＜樹脂部品成型＞ ABS樹脂	0.35	kg	3.98	gCO_2/kg	1.393	②	a
	＜樹脂部品成型＞ 電力	0.3	kWh	0.479	gCO_2/kWh	0.1437	②	a
	＜アルミダイカスト＞ アルミダイカスト	0.7	kg	4.07	gCO_2/kg	2.849	②	a
合計						4.3857		

※段階毎に、インプット・アウトプットされる項目を洗い出してください。

※一次データが収集可能か確認し、収集が困難な場合は二次データを利用してください。

収集データの根拠となる出典資料

入出力データの根拠	
①	当社川崎工場における実測値
②	調達先A社（樹脂部品成型）からの聞き取り
③	調達先B社（アルミダイカスト）からの聞き取り
④	自治体からの聞き取り
⑤	当社による仮定（標準的な製品の製造、流通、使用に関するデータ）
単位あたりCO_2排出量（原単位）の出典	
a	産業環境管理協会　CFP算定用二次データ　基本データベースver.1.0

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート記入方法（4ページ）

応募製品・技術、サービスの1機能あたりライフサイクルCO_2排出量	181.993	g-CO_2

比較対象製品・技術、サービスの1機能あたりライフサイクルCO_2排出量	196.995	g-CO_2

CO_2排出削減量の算定結果

	算定式	算定結果	
1機能あたり CO_2排出削減量	比較対象製品$LCCO_2$－応募製品$LCCO_2$	15.00	g-CO_2
CO_2排出削減率	（比較対象製品$LCCO_2$－応募製品$LCCO_2$）／ 比較対象製品$LCCO_2$	7.6	%

※応募製品等、比較対象の各々について、1機能あたりライフサイクルCO_2排出量を算定した上で、CO_2排出削減量及びCO_2排出削減率を算定してください。

審査シートの提出、認定・公表

審査シート提出期間：10/9～11/6

- エントリーシートに記入されたCO_2排出量の算定結果について、事務局で確認し、内容確認、修正いただきたい点等を**個別に連絡します**
  それを踏まえ、**「審査シート記入例」**を参考にご記入下さい

- 提出された審査シートに基づき、選定基準に基づいて、二次審査による認定を行います

- 必要に応じてヒアリングによる確認を行う場合があります

審査シート記入方法（2ページ）

下記の認定・大賞選定基準については、該当する項目にご記入の上、説明資料等を添付してください。	
製品・技術（サービス）の独自性・先進性	（※認定された際に、紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。）
製品・技術（サービス）による市民、社会全体の取り組みの推進効果	
製品・技術（サービス）による国際的な貢献	（※認定された際に、紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。）
製品・技術（サービス）による市の環境施策への貢献度	（※認定された際に、紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。）
製品・技術（サービス）による地球温暖化対策全体への貢献度	（※認定された際に、紹介資料等に掲載しますので、公表を前提とした記載をお願いします。）

※応募要領P3-4を参照し、
ご記入ください。

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

審査シート記入方法（7ページ）

CO_2排出削減量の算定結果

	算定式	算定結果	
1機能あたり CO_2排出削減量	*比較対象製品LCCO$_2$－応募製品LCCO$_2$*	*15.0*	g-CO_2
CO_2排出削減率	*（比較対象製品LCCO$_2$－応募製品LCCO$_2$）／ 比較対象製品LCCO$_2$*	*7.6*	%
1年間のCO_2排出削減量 ※記入は任意です	*（比較対象製品LCCO$_2$－応募製品LCCO$_2$）× 年間生産量*	*45.0*	kg-CO_2

※1機能あたりCO_2排出削減量に年間の生産量等を乗じ、
１年間のCO_2排出削減量を算定してください。但し、この欄の記入は任意とします。

エントリーシート自己チェックリスト（1）

チェック項目	チェック方法
記入漏れ・添付漏れ等	□ すべての項目に記載がされているか（カッコのある項目は、カッコ内に〇印を記載。特に記載すべき事項がない場合は「特になし」と記載。） □ 担当者の連絡先は、すでに応募登録されているか □ 提出書類（応募要領P8）について添付されているか
機能・機能単位	□ 機能単位は、定量的に明確に設定されているか □ 得られる機能（性能・品質等）が、比較対象と同じであることが確認できるよう、適切に設定されているか □ 使用や稼働の状況について、公平性に考慮した設定となっているか □ 使用や稼働の状況について、規格や業界標準、統計データなどの説明根拠があるか
比較対象製品・技術、サービス	□ 比較対象は以下のいずれかとなっているか。 ①自社の過去の製品・技術、サービス ②その他（他社の製品・技術、サービスなど） ③応募製品・技術等が導入されない場合に採用されていたと考えられる標準的な状況 □ 比較対象を設定した理由・根拠が明記されており、設定方法は公平で、妥当性が説明されているか（恣意的ではなく、標準的、一般的と説明できるか） □ 上記②～③の場合、①の可能性を検討したか □ 廃棄物利用を特徴とする製品・技術等の場合には、「一般的な原料からの製品製造」と「廃棄物の一般的な方法での処理工程」の合計を、比較対象としているか

LOW CARBON

低CO_2川崎ブランド

エントリーシート自己チェックリスト（2）

チェック項目	チェック方法
製品・技術、サービスのフロー、算定範囲	□ ライフサイクルでの算定範囲が明示されており、応募製品・技術・サービスと比較対象の算定範囲が同一となっているか □ カットオフ実施する場合、カットオフの実施内容について根拠・妥当性が説明されているか
耐用（使用）年数 ※ライフサイクルでの計算では使用年数が大きく影響します。	□ 耐用（使用）年数や使用頻度・回数等が、比較対象と異なる場合、機能が同一となるよう設定されているか □ 上記の場合、耐用（使用）年数や使用頻度・回数を示すエビデンス（取扱説明書や保証書、使用実績等を示すものなど）が添付されているか □ エネルギーを使用する製品等の場合、耐用（使用）期間のエビデンスが添付されているか
寄与率 ※設定した場合にのみチェック	□ 寄与率を設定した理由・根拠が明記されており、設定方法は妥当と説明できるか（恣意的ではなく、標準的・一般的と説明できるか） □ 応募製品以外の寄与率を含め、寄与率の合計が100%となるよう説明できるか

エントリーシート自己チェックリスト（3）

チェック項目	チェック方法
インプット・ アウトプット	□ 一次データの収集方法は妥当か。数字に転記ミスなどないか。 □ 二次データの収集方法は妥当か、出典は明記されているか、信頼できるデータを使用しているか。 □ CO_2以外の温室効果ガスについて、一酸化二窒素（N_2O）、メタン（CH_4）、フロン類（HFC、PFC）、SF_6の排出の抜け・漏れはないか。 □ 原材料調達段階、生産段階においては、付属品等ももれなく計上されているか □ 流通、販売段階においては、容器包装・輸送資材なども計上されているか □ 使用・維持管理段階においては、薬剤等の消耗品、メンテナンス時の交換部品などについてもれなく計上されているか □ 使用時の消費電力量が大きく削減される場合は、エビデンスが添付されているか □ 廃棄段階において、それぞれの最終処理方法・リサイクル方法は実態に即しており妥当性が説明されているか（恣意的な設定となっていないか） □ 廃棄段階において、処分場までの輸送に係るCO_2、焼却工程からのCO_2を計上しているか
データ、原単位の信頼性	□ 独自のデータベースを使用している場合には、主要な原単位について一般的なデータベースとの比較検討した資料を添付しているか □ 使用時の消費電力量の削減がある場合、エビデンスは添付されているか
算定結果	□ 計算間違いはないか
提出について	□ 提出期限内か □ 電子媒体と書面での提出の準備が整っているか

質疑応答

- ご質問、ご意見のある方は挙手をお願いします。

事務局・連絡先　事業全般に関するお問合せ先
川崎市環境局地球環境推進室
TEL: 044-200-3837
Eメール「30titan@city.kawasaki.jp（※30: 数字で“30”）」
低CO_2川崎ブランドホームページ
http://www.k-co2brand.com